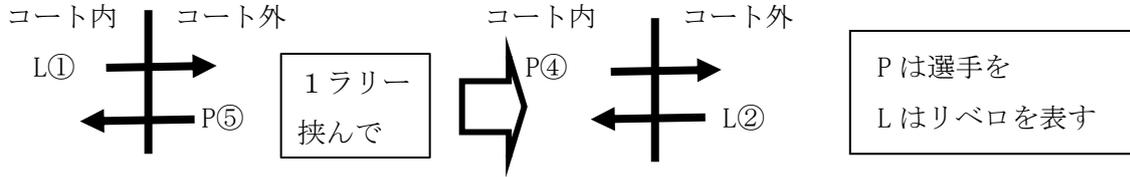


リベロシステムの取り扱い変更（改訂版）

現状の高体連特別ルールによるリベロシステムをシニアルールに移行する。

★ 平成24年4月1日より実施。

★ リベロの交替は必ず1ラリーを挟まなければならない。



従来の高体連ルールではこの交替は同時に行われていたが、シニアの場合は必ず1ラリーを挟まなければならない。

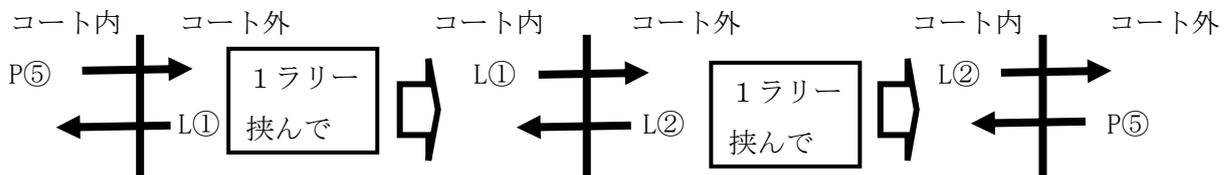
平成24年度の取り扱い

チームが間違っリベロリプレースメントを行い、審判員が指摘した場合は試合を通して各チーム1回目に関り、その間違いを教え反則とはせず、正しいリプレースメントを認めた上で試合を再開する。2回目以降は不法なリベロの交代として取り扱う。（規則 19.3.2.9, 規則 7.5, 規則 7.7）

審判員の指摘が

- ① サービス許可の吹笛前であれば、間違いを修正した後、正しいリプレースメントだけを認めゲームを開始する。
- ② サービス許可の吹笛後からラリー完了前までであれば、直ちにゲームを止めノーカウントとする。さらに間違いを修正した後、正しいリプレースメントだけを認めゲームを再開する。（ノーカウントではあるが前項①との関連から特例として正しいリプレースメントだけを認める）
- ③ ラリー完了後であれば、たとえ1回目の場合であっても不法なリベロの交代として取り扱う。（規則 19.3.2.9, 規則 7.5, 規則 7.7） またラリーの完了があるのでリプレースメントを認めて再開する。（この場合は「1回目の教えたこと」として扱う。）

★ リベロ同士の交替が可能。



従来の高体連ルールには存在しない。

リベロ同士のリプレースメントは、1ラリーを挟んでいれば何度でも可能。

★ リベロ再指名は、必ずしも怪我・病気でなくても良い。

但し、リベロが1名の時に限る。（2名リベロであっても、その内の1名が怪我・病気でリベロの機能を果たしていない場合はリベロ1名と考える）

再指名をした後、元のリベロはその試合に再びコートに戻ることはできない。